

第13回 ^{さとこ} 都子さんメモリアル

愛とヒューマンのコンサート

2013年11月3日（日）13：30～15：30 新川文化ホール

第1部

混声合唱

合唱団「SATOKO」 指揮 川崎祥悦 ピアノ 美蔦真澄

| | | |
|------------|-------------|----------|
| 祈ろう心こめて | きく よしひろ 作詞 | 川崎祥悦 作曲 |
| 山のいぶき | 松前幸子 作詞 | 川崎祥悦 作曲 |
| あなたの心に | 坂本（大山）都子 作詞 | 川崎祥悦 作曲 |
| 親と子の童謡メドレー | | 川崎祥悦 編曲 |
| 靴が鳴る | 清水かつら 作詞 | 弘田龍太郎 作曲 |
| おかあさん | 田中ナナ 作詞 | 中田喜直 作曲 |
| 里の秋 | 斉藤信夫 作詞 | 海沼実 作曲 |
| 汽車ポッポ | 富原薫 作詞 | 草川信 作曲 |
| みかんの花咲く丘 | 加藤省吾 作詞 | 海沼実 作曲 |

第2部

太鼓・フルート・ヴァイオリン・ピアノ

井上奈々星 石井陽子 松本克巳 相馬泉美

| | | |
|--------------|-------------|------------|
| 虹の伝説 | Dr Fl Vl Pf | 川崎絵都夫 作曲 |
| アヴェマリア | Vl Pf | シューベルト 作曲 |
| 精霊の踊り | F1 Pf | グルック 作曲 |
| 龍 | Vl Pf | 貴志康一 作曲 |
| 四季 | Vl Pf | ヴィヴァルディ 作曲 |
| 微笑む三つの薔薇によせて | F1 Vl Pf | 川崎絵都夫 作曲 |

主催：都子さんメモリアル 愛とヒューマンのコンサート実行委員会

後援：富山県、魚津市、魚津市教育委員会、都子基金

《虹の伝説について》

愛とヒューマンのコンサート委員会 いまのつよし 今野 強

私は今日までの魚津の皆さんの温かさに何をもってお応えしたらよいただろうと考えていました。

魚津の皆さんに没後10年を機に追悼コンサートをお願いに来てからの14年余の多くの経験は人生の宝となりました。熱く厚く心からお礼申し上げます。このような思いと、当時の虹にかかわる下記の情景、心象を親友でもある敬愛する作曲家川崎絵都夫氏に伝えて【虹の伝説】を委嘱致しました。川崎絵都夫氏も見える本日が初演です。

今回初めて魚津に伺った太鼓の井上奈々星さんは松本克巳氏の高校の同級生の娘さんで東日本震災地には松本氏らと共に訪問支援演奏を重ねています。坂本事件に思いを馳せる都子さんと同年の29歳に昨日なつばかりです。

さて、曲の冒頭は太鼓による雷雨の表現です。龍彦君の誕生時すごい雷雨で、龍が降りてきたようだと予め用意した名を急きよ変えて龍彦と命名したといひます。

続いてヴァイオリン・フルート・ピアノによる演奏です。現れた虹をくぐって一行が現場へ向かう情景です。続いて静寂の中での慰霊碑への献花、取材陣の眼にも涙が浮かんでいました。その中で一行の胸中にコンサート成功への熱い思いが湧き上がってくるのでした。高鳴る鼓動が聞こえる思いでした。

最後は太鼓も入った四重奏。大正デモクラシーへ道を切り拓いた魚津の米騒動を担った、優しく強かった魚津の女性たちに捧げる調べです。

虹の伝説を解説する上で魚津の濱田實、小熊清史両氏のことばを下記に引用させていただきました。

「昨日、都子さんのご両親、演奏者、支援のみなさん、実行委員の面々で慰霊碑まで上がったのです。市内には一滴の雨も降らないのに、私らが上がろうとしたら突然雷まじりの土砂降りです。大切なヴァイオリンを雨に濡らすわけにはいかない、困ったなあと思っていたのですが、山道を上がって行きますと雨が小止みになりまして、行く手に、私も虹はたくさん見えますがあんなに綺麗な虹、二重の虹が、ちょうど都子さんが埋められた所を中心として円を描いておりました。現場に着くとピタッと雨が止みました。私は魂の存在とかを信じない方なのですが、あの時は都子さんの魂が悲痛な思いで涙を浮かべ、そして綺麗な虹となってご両親を迎えられた。あの時山に上った者は皆そういった奇跡を信じました」これは魚津での初コンサートの開会の辞で濱田實さんが舞台から語られた言葉です。

今回のファイナルコンサートにあたって小熊清史さんは「慰霊碑の裏面に刻まれた『赤い毛糸に…』の詩を読んだときの衝撃は、忘れることができません。僧ヶ岳の虹と、慰霊碑の詩と、同時に出会わなければ、これほどに強烈に心に突き刺さって来なかったでしょう。偶然とはいえ、運命のようなものを感じます。いま、一区切りをつけるにあたって、友との別れのような、辛い辛い気持ちです」と述べられておられます。



演奏者のプロフィール



合唱指揮
川崎祥悦



ヴァイオリン
松本克巳



ピアノ
相馬泉美



フルート
石井陽子



和太鼓
井上奈々星

青森県生まれ。東京藝術大学作曲科卒業。都子さんの詩をもとに、2004年に混声合唱曲「あなたの心に」を作曲。

山口県宇部市生まれ。1980年日本フィルハーモニー交響楽団に入団。生前の都子さんらと交友があった。

青森市生まれ。東京音楽大学ピアノ科卒業、同大学研究生ピアノ伴奏コース修了。現在同大学ピアノ科非常勤講師。

東京芸大卒。1997年に建立された一家の慰霊碑の除幕式で松本克巳氏とともに演奏。第8回メモリアルに出演。

埼玉県生まれ。10歳より和太鼓を打ち始める。松本さんたちとともに被災地での演奏会に参加している。

オウム真理教による坂本弁護士一家殺害事件は1989年11月3日の深夜から4日未明にかけておきました。4日夜から6日にかけて、龍彦ちゃん、堤さん、都子さんの遺体が離ればなれに埋められました。遺体が発見され収容されたのは1995年9月です。2年後、僧ヶ岳林道沿いの発見現場に慰霊碑が設置されました。

魚津では、1999年8月から、都子さんを追悼するコンサートを開いています。2005

年以降は新川文化ホールの小ホール、2008年以降は大ホールを使用しています。2011年には慰霊碑をふもとの「山ノ守キャンプ場」に移設し、翌2012年には移転の除幕式を開催。日弁連前会長の宇都宮健児氏をはじめ多くの法曹関係者が参加されました。

2011年から2012年にかけて、都子さんのご両親(大山友之さん、やいさん)や、堤さんのお母さん(坂本さちよさん)が、支援団体の助けを借りて魚津へいらっしゃいました。年齢と体調から、「これが最後の機会」と語られました。

音楽ホールを使つてのコンサートは、今回を最後とします。ただし、「あなたの心に」を歌い継ぎ、事件を忘れず、都子さんの生き方を語り伝えるという活動は、形をかえても続けていこうと思っております。これからもご協力をよろしくお願い致します。



【作曲家の紹介】 川崎 絵都夫 (かわさき えつお)

1959年東京生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業後、坂本龍一のオーケストラレーターを勤めるなど編曲家として活躍。邦楽器・合唱・室内楽などの委嘱作品発表も開始する。文学座・新国立劇場・日生劇場を始めとした舞台のための音楽も多数。邦楽合奏作品は親しみやすい作風でアマチュア合奏団や学生サークルなどで広く演奏されている。

(「日本音楽集団」の会員紹介より引用)

作詞 坂本(旧姓大山)都子
作曲 川崎祥悦

「あなたの心に」

赤い毛糸に

だいだいの毛糸を 結びたい

だいだいの毛糸に

レモン色の毛糸を 結びたい

レモン色の毛糸に

空色の毛糸も 結びたい

青い空と

深い緑の森を 結びたい

結びたいんだ

このまちに生きる

ひとりひとりを

※ 結びたいんだ

私の思いを

あなたの心に

※のフレーズは作曲上の視点から略させていただきました(川崎)

僧ヶ岳の慰霊碑に刻まれている詩では、「青い空く深い緑」の部分が省略されています。「周囲の風景と余りにもぴったり一致して、見るたびに切なくなる」との御両親の意向によります。

合唱団「SATOKO」

都子さんの詩をもとに、2004年に作曲家川崎祥悦氏によって作曲された混声合唱曲「あなたの心に」を歌うため、「第4回都子さんメモリアルコンサート」以降、毎年市民有志が集まり、合唱団「SATOKO」を結成しています。

【団員】伊勢ふじえ 井田真緒 板井載 生津江昭子 内山夏帆 梅原健治 浦山由美子 大崎晴夫 大島多佳子 大城咲子 大城温美 太田寛子 大森一実 大森崇督 小熊房江 小幡七海 金盛久美子 金子英子 窪田琴梨 小林真奈 佐伯栄子 佐々木恵美子 佐々木矢子 沢泉好美 島田修 城木穂香 菅原麻希 杉本英知子 千先まさ枝 大門雅子 高橋若菜 高畠民子 高緑不二子 竹美世子 武内浩一郎 谷川久仁子 谷口那緒 辻幸恵 辻博文中 陳志美子 中松和子 野崎アツ子 野村明男 浜川眞理子 濱田勝宏 濱田敏明 濱田實 早崎やい子 飯田恭子 広世貞子 古川敏子 松倉秋子 松谷茂樹 松林麗奈 松原英樹 松原洋子 水口チエ子 溝口富美子 南昌子 宮川成子 宮川結衣 宮崎楽 宮原美智子 三由和久 守谷みつゑ 矢口綾乃 山沢まさみ 山本美紀 吉倉優太 吉崎むつ子 米澤咲希 若林真智子

第8回コンサートで指揮する川崎先生



【作曲家の紹介】 川崎 祥悦 (かわさき しょうえつ)

1932年、青森県生まれ。1955年、東京芸術大学作曲科卒業。作曲およびピアノの演奏活動をつづけながら、1960年からは教科書の編集にたずさわる。音楽教育を天職と思い定め、その充実と発展に力を注ぐ。合唱曲「山のいぶき」「思い出は空に」をはじめ、市歌、校歌など数多くの作品で知られる。2004年、都子さんの詩をもとに「あなたの心に」を作曲。なお、追悼曲を作曲した川崎絵都夫氏はご子息である。

合唱曲「あなたの心に」を歌い継ぐ

「都子さんの詩にメロディがついたら、歌えるのになあ、といったら、川崎祥悦先生が曲をつくろうかといっておられる」…同じ合唱団の濱田敏明さんが、興奮しながら私に電話をかけてきたのは、2004年の8月。あの大先生が作曲してくださる！という驚きと、短期間に合唱を仕上げることができるのか、という心配が頭の中で交錯しましたが、このチャンスをのがしたら後悔するという思いで引き受けました。

なんとかメンバーを確保して「合唱団SATOKO」が誕生。宮本則子さんのピアノ、川崎先生の指揮により新川学びの森交流館で「あなたの心に」が演奏されました。

やがて、都子さんについて調べはじめました。障害者や困っている人に対する深い共感と愛情。自らボランティア団体を立ち上げる行動力。すべての人が幸せに暮らせる社会を創るにはどうしたらよいか真剣に考え、行動した都子さん。なんと素晴らしい女性だったのか。都子さんの

思いを、そして生きた証を伝えることが使命だと思ふようになりました。

それは、崩壊が叫ばれている家族の絆、地域の絆を取り戻すことに他ならない。次世代につながる活動になればと思っています。



2004年10月31日 天神山交流館

実行委員会 ふるかわとしこ 古川 敏子

坂本(旧姓 大山)都子(さとこ)さん 略歴 (都子基金の資料より作製しました)

- 1960年 2月24日 茨城県那珂郡大宮町に生まれる
- 1964年 7月 茨城県勝田市(現ひたちなか市)へ転居
- 1972年 4月 勝田市立第一中学校に入学
クラブ活動はブラスバンド部に入学
- 1975年 4月 茨城県立水戸第二高等学校入学
青少年赤十字奉仕団(JRC)の活動に参加。
勝田ファミリーの設立にかかわる。
(勝田市出身の高校生達のボランティアサークル)
- 1978年 4月 立教大学社会学部社会学科入学
- 1979年 車イスの方の介助ボランティアを始める
- 同年 8月 全国車イス市民集会の事務局員として活動
ボランティアとして参加した坂本堤さんと知り合う
- 1980年 3月 念願だったインド旅行を実現
- 同年 8月 テレビ朝日福祉文化事業団主催のサマーキャンプにボランティアとして参加
(1983年まで毎年参加)
- 1982年 3月 立教大学社会学部社会学科卒業
- 同年 4月 法律事務所に事務員として勤務
- 1983年 秋 中国からの帰国者を支える会の活動に参加
ボランティアで、帰国者の子女の家庭教師を始める
- 1984年 3月4日 坂本堤さんと結婚
- 同年 4月 宇都宮法律事務所(現東京市民法律事務所)に勤務
- 1988年 8月25日 長男 龍彦ちゃんを出産
- 1989年 11月4日 未明、オウム真理教幹部らにより殺害される(享年29歳)

中学3年生の時、茨城県で開催された身障者スポーツ大会にブラスバンド部員として参加し、障害があっても明るくひたむきにプレーする選手たちに触れ感動する。

1985年、豊田商事事件。中坊公平さんらの被害者救済活動に事務局員として加わり活躍する。



山ノ守キャンプ場に移設された慰霊碑

魚津市と地元三ヶ生産森林組合の協力を得て2011年11月に移設しました。

四季折々の美しい風景をバックに、皆さんをお待ちしています。案内板も設置しました。キャンプ場でひと休みしながら、オウム事件のこと、都子さんたちのことに想いをめぐらせてください。

メモリアルコンサート略史

1989. 11. 04 事件発生 きとこ 都子さん29歳、つづみ 堤さん33歳、たつひこ 龍彦ちゃん1歳2ヶ月
1995. 09. 07 遺体収容
1997. 09. 07 慰霊碑除幕
1999. 08. 19 第1回メモリアルコンサート（農村環境改善センター）
「坂本弁護士一家追悼ヒューマンコンサート in UOZU」
2002. 08. 24 第2回メモリアルコンサート（片貝小学校）
「都子さんメモリアル・魚津“星ふる夜”のコンサート」
2003. 08. 20 第3回メモリアルコンサート（天神山交流館桜ホール）
「都子さんメモリアル・森のゆめコンサート」
2004. 10. 30 訪問コンサート（障害者交流センター・片貝小学校）
2004. 10. 31 第4回メモリアルコンサート（天神山交流館桜ホール）
「都子さんメモリアル・愛とヒューマンのコンサート」
合唱曲「あなたの心に」初演
2005. 08. 20 訪問コンサート（障害者交流センター・労災病院）
2005. 08. 21 第5回メモリアルコンサート（新川文化ホール・小ホール）
2006. 06. 06 訪問コンサート（片貝高齢者ふれあいの家・障害者交流センター・図書館）
2006. 11. 04 第6回メモリアルコンサート（新川文化ホール・小ホール）
2007. 07. 22 第7回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）
2007. 07. 23 訪問コンサート（片貝公民館・障害者交流センター）
これ以降はメモリアルコンサートの翌日に訪問コンサートを実施
2008. 09. 07 第8回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）
2009. 09. 06 第9回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）
2010. 10. 17 第10回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）
2010. 11. 02 北日本新聞地域社会賞受賞
2011. 07. 24 第11回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）
2011. 09. 10 坂本さちよさん来訪
2011. 11. 12 慰霊碑移設
2012. 06. 02 慰霊碑移設除幕式
2012. 09. 30 大山友之さん、やいさん来訪
2012. 10. 21 第12回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）
2013. 11. 03 第13回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）



慰霊碑のレリーフに刻まれた家族の肖像